～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　自己免疫性膵炎における未治療経過観察もしくは治療導入後の再燃リスク因子に関する研究』
研究機関名　東邦大学医療センター　大森　病院
研究責任者　　消化器内　科　　職位・氏名　　助教　氏田　亙

【情報の利用目的】
取得した情報は IgG4 関連疾患(自己免疫性膵炎、IgG4 関連涙腺・唾液腺炎、IgG4 関連後腹膜線維症、IgG4 関連腎臓病、IgG4 関連リンパ節腫脹等)における臨床画像の特徴と未治療経過観察もしくは治療介入前後の病変の画像や血液検査結果の変化、病理結果等を調べることを目的とした研究に利用します。
この研究で得られる成果は、自己免疫性膵炎における早期診断や治療効果、再燃を予測することが期待され、早期の治療介入や治療用量の変更、合併症の早期発見と治療介入により ADL 向上につながります。

【他機関への提供】
他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる情報】
＜基本情報＞
年齢、性別、初診日、身長、体重、疾患名、既往歴、家族歴、飲酒歴、喫煙歴、内服歴、発症日、症状、転帰、臨床検査値(IgG、IgG4、血糖、HbA1c、BUN、Cr、AST、ALT、ALP、γGT、Alb、ChE、T-CHO、TG、Ca、WBC、CRP、CEA、CA19-9、Span1、DUPAN2 等)、臨床検査日、画像所見(腫大・腫瘤・結節・肥厚像、脈管狭細像、軟部影や造影不良域、T1/T2 強調像での高/低信号像、拡散強調/ADCmap 等)、画像検査日、転帰日、最終外来日
＜IgG4 関連疾患関連＞
IgG4 関連疾患合併症名、組織・細胞診所見、前治療歴・治療内容、治療開始日、治療終了日、再燃日、CT 値・MRI の ADC 値、病変部の短径・長径、病変部の体積、内視鏡(ERCP/EUS/経皮処置)の実施日、使用機材、内視鏡所見、術後合併症、併用治療
研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【情報の利用または提供を開始する予定日】
2026 年 5 月より利用を開始します

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】
東邦大学医療センター大森病院　　病院長　酒井謙

【情報の取得方法】
対象者：2015 年 4 月～2030 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院
消化器内科において、IgG4 関連疾患(自己免疫性膵炎、IgG4 関連硬化性胆管炎、IgG4 関連後腹膜線維症、IgG4 関連涙腺炎・唾液腺炎、IgG4 関連腎臓病、IgG4 関連リンパ節腫脹等)の診断、内服治療、経過観察等を実施された方
方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】
代表施設名：東邦大学医療センター大森病院　研究代表者：氏田亙　役職：助教

【利用する者の範囲】
氏田亙、小原大和、池上遼、三浦雅史、中川皓貴、木村祐介、宅間健介、岡野直樹、松田尚久

【情報の管理について責任を有する者の名称】
東邦大学医療センター大森病院　病院長　酒井謙

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2031年2月28 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、代諾者からの申し出に関しても同様に対応致します。

【連絡先および担当者】　東邦大学医療センター大森病院　消化器内科
職位・氏名　助教　氏田　亙
電話　03-3762-4151　内線　777806